

大垣西濃信金

全国の米使用、被災地支援日本酒

「絆舞」大垣市に寄贈

大垣西濃信用金庫は22日、信用金庫のネットワークを生かして全国47都道府県からコメを集めて福島県の酒蔵で仕込んだ日本酒「絆舞」を大垣市に寄贈した。

酒造りは全国の信金でつくる実行委員会が東日本大震災・熊本地震からの復興や地方創生の後押しなどを狙って企画。県内では大垣西濃など六つの信金に参加し、コメは県産ハツシモが提供された。絆舞は9月に都内で

実行委員会が主催したイベント「よい仕事おこしフェア」で販売。当日は大垣市制100周年をPRするステージイベントに小川敏市長が出演したことから、大垣西濃信用金庫が感謝を示すため1升瓶入りの絆舞1本と500ミリ入り5本を贈ることになった。

贈呈式で栗田順公理事長が「つながりが深い(全国)信用金庫協会だからこそ作れたお酒。今後も信金同士はもちろん、顧客との絆も深めて地元経済の発展に尽くしていきたい」と決意を語り、小川市長に一升瓶を手渡した。

(古家政徳)



「絆舞」を小川敏市長に手渡す栗田順公理事長(右)
大垣市役所